えんちく PTA 会報

えんちく PTA 連合会

えんちくPTAは塩尻東筑摩の
各地区単位ＰＴＡを応援する会報誌です。

写真：山形小学校　撮影日：2015.6.12
「自然学習の様子です。地域の人の説明を真剣に
聞いている姿が何か微笑ましいですねぇ。」

写真：広丘小学校　撮影日：2016.1.11
「大人と子どもで力合わせ！
三九郎のやぐらづくり」

『子どもの豊かな未来づくり』
～共に学び・語り・育てよう～

東筑摩塩尻ＰＴＡ連合会報 No.26
http://enchiku.net/

シリーズ
「いっしょに学ぶ」　楢川小学校
「学校給食レポート」　生坂中学校
「こんなＰＴＡいかが」　生坂小学校
「私達の学校紹介します」　筑北小学校

第３回専門委員会活動報告・講演会「短歌をつくろう！歌会しよう！」
第４回専門委員会活動報告・講演会「プロの教師にあこがれて」
第２回単位 PTA 会長会／Ｅコラ／えんちく PTA に寄せられた三行詩より
いまの気持ち（郡Ｐ常任委員メッセージ）

専門委員会講演会・活動報告

第３回専門委員会講演会 1月23日(土)

提案：短歌は目的ではなく手段である！
【だいすきなんだ】によるコミュニケーション・ツール
講師：藤森 円氏

第３回父親母親委員会の講演会は、同じ常任委員でもある藤森円氏です。お子さんと一緒に短歌を作られていて塩尻の短歌の里のファミリーとして評判です。全国短歌フォーラム in 塩尻では、上位入賞を果たしました。

【短歌をつくろう！歌会しよう！】
　簡単な短歌を作るだけで円滑なコミュニケーションを図ることができ、またそれを発表しあうことで総合理解を深めることができることを講演して頂きました。

1．第五句を「大好きなんだ」で統一
2．第一句～四句まで自分の好きな物・事を四つ何でも入れて良い
3．作成した短歌を仲間に発表する
4．発表された短歌を味わう
5．さあ、始めましょう！

　実際に短歌を作り発表しあいましたが、自分の言葉で短歌を作ると親しみを持つことができ、また発表することで相手の思いが分かり、コミュニケーション・ツールとしての短歌を感じることができました。発表された短歌を修正せず提案せず、誉める事によって誉め言葉を素直に受けとめることで自己肯定感が凄く高まります。

短歌を作るうえで
- ●自尊感情
- ●言葉のちからができる
- ●作成した短歌を発表することで自己アピールする力がつく
- ●相手の評価を受け入れる
- ●より良い創作への意欲ができる
- ●発表された短歌を文章から推察する力
- ●他者への理解を深める
- ●相手の良さを認める

という力がつきます。

「短歌をつくろう！歌会しよう！」を通して自己表現する勇気を出すこと他者からの評価を受け入れることで自己肯定感を高めるこどができると話して頂きました。

第３回専門委員会活動報告 1月23日(土)

教育問題検討委員会

テーマ「いじめについて」
　今回はいじめの実態・インターネットやゲーム機を利用した書き込み（各家庭で利用条件付けてますか？）について協議を行いました。
　目に見えたいじめは聞かないが、隠れたいじめがあるのか。または、友達に悪口を言われたり、酷い言葉を言われたりしたが、直ぐに学校へ連絡して対応してもらい事なきを得たので、学校との信頼関係が大事だという話題がありました。
　また、インターネット等の利用条件は小学生ではあまり使わないという家庭が多いようです。これから利用するに当たり、親の前で使うことが勧められます。
　今後の対策として、いじめは子ども同士の解決は難しいので、子・親・学校の連携が必要であると感じました。

父親母親委員会

　第３回の父親母親委員会では同じ常任でもある藤森 円氏による「短歌を作ろう！歌会しよう！」提案：短歌は目的ではなく手段である！コミュニケーション・ツールについて講演をして頂きました。短歌を作成し発表することで、自己表現する勇気や自己表現する喜びを感じられるなど、短歌を作るだけで円滑なコミュニケーションを図ることができると分かりました。
　二部では、小林副会長が諏訪地区PTA 連合会の研修会に参加し「教育コーチング」について話して頂きました。
　「愛を伝えるＩメッセージ
　You〈あなた〉で誉めるのではなく
　Ｉ〈私〉で誉める」
　事実を伝える誉め方がとても大事なんだと伝達していただきました。
　最後に意見交換をしました。

学校・地域連携委員会

　第３回学校・地域連携委員会では、大規模学校と小規模学校のグループに分かれて、先日実施したアンケートの結果に基づいて、予め設定した内容にてグループ討議を行った。
　進捗には差があるものの、立ち上げるまでに最低限の情報開示やＣＳそのものの説明をして欲しい･欲しかった。また関わり方も、ある程度明確に提示される方がＰＴＡとして関わりやすいといった意見が出された。一方では保護者間の温度差があり、今後継続をして行く上で保護者間でのＣＳの周知・意思の疎通も必要があるとの意見も上がった。
　その後それぞれで保護者が考えるコミュニティースクールのチャート図を作成した。

第４回専門委員会講演会 2月13日㈯
「プロの教師にあこがれて」

講演：東筑摩塩尻 PTA 連合会　副会長　田中公男 氏

このたび、東筑摩塩尻 PTA 連合会の総まとめ会を開催いたしました。その中で、東筑摩塩尻 PTA 連合会の副会長であり、東筑摩塩尻教育会副会長、並びに我が母校である新合併校・筑北小学校の初代校長、田中公男様に「プロの教師にあこがれて」という演題で講演していただきました。

一度は自動車整備士の道を歩み始めたものの「おれ、小学校の先生になりたいんだ！」その言葉に家業を継いでくれると思っていたお父様が隣の部屋で声を上げて泣き悲しんだそうです。29 歳の教師人生のスタートでした。向山洋一先生の「教育技術の法則化運動」と出会い、プロの教師にあこがれ、授業技量検定を受験され 24 級認定という厳しい評価を受け、どうしたら向山先生みたいになれるのか。プロとアマの差はわずか数ミリの差にすぎないが、その数ミリは、どうしようもない歴然とした差である。そのわずかの中に、人生がたたみ込まれるほどの努力が入っているからである、と。理想の教師を求めて悩める厳しい道を進まれ、現在はご自身の教育理念を極めるに至られております。田中校長先生の教師人生を支えてくれた向山先生の教えは、そのまま、親としての教えでもあるように聞こえました。子どもにとって価値ある教師とは何か。子どもにとって信頼される親とは何か。

最後に田中校長先生から、「流れ星を見つけたら消えぬ間に三回唱えれば夢が叶う。迷信だと終わらせる前に、そのたび夢を声に出して宣言せよ、皆さんの人生が開いていくでしょう」その言葉に、将来に向かって勇気と希望が湧いてきました。講演後に、息子が小学校の時に田中先生が担任だったという PTA 会長から、「私たちにとって田中先生は授業技量検定１級以上の最高の先生でした！」という言葉が印象的でした。教育人生を通した貴重な講演を頂き心から感謝いたします。

第４回専門委員会「まとめの会」活動報告 2月13日㈯

教育問題検討委員会

平成 27 年度教育問題専門委員会は三つのテーマ①学級ＰＴＡについて②部活動（朝練習／夜練習）について③いじめ問題を設定して討議をして参りました。

教育問題はそれぞれのテーマで正解が一つではなく、その正解があっても中々その通りできない問題ばかりでしたが、それらを話し合うことで現状把握・情報共有できたことは、とても意味深い事だと考えます。これらの討議結果を、各単Ｐにも反映して頂ければ幸いですし、是非来年度も討議して頂きたいと願います。

また、専門委員会のメンバーの皆様には、お忙しいところ積極的な参加をして頂き、本当に意義のある討議をして頂きましたことに感謝申し上げます。そして、一緒に委員会を盛り上げてくださった副委員長の洞会長・事務局石田常任・書記小鹿常任、本当にありがとうございました。

父親母親委員会

【自己肯定感を高める関わりかたとは】

自己肯定感の低い子どもが増えていると言われています。親の関わりを振り返ることでより良い親子関係が築けるのではないかと思いこの共通目標を設定しました。

今まで話し合ってきたことを、一回目から振り返りまでをパワーポイントで発表しました。子どもに「愛されてるんだ！」という実感を持たせることと「やればできるんだ！」という自信を持たせる。叱ることは必要ですが「どんなときもあなたの味方だからね！」と言ってくれる存在がその子にとって愛情となり心の支えになり自己肯定感につながっていきます。

３回行ってきた父親母親委員会のまとめとなりました。

学校・地域連携委員会

第４回学校地域連携委員会ではまとめの会にて、一年間の活動報告を行いました。委員会では、“信州型コミュニティースクールを学ぶ”を研究テーマに「知る」「聞く・学ぶ」「考える」「まとめる」を各回で実施しました。

１回目　信州型コミュニティースクールを知る。
２回目　先進校の様子を聞き、学ぶ。
３回目　各単Ｐ会長宛てに実施した信州型ＣＳアンケートから

アンケートから見えてきたＣＳの良さや課題をもとに意見を集約し、保護者が考えるＣＳを作成しました。更に、ＣＳの重要項目や理想像も併せて考えてみました。

これらを一年間の活動内容としてまとめ、報告しました。

木曽楢川小学校

「地域と学ぶ、ふるさと学習」

木曽楢川小学校では、長年地域の伝統工芸士の方々に漆塗りの工芸技術を教えていただく「ふるさと学習」が、続けられています。

３～６年生を対象とし、作品は箸やお弁当箱等から好きなものをいくつか作れるので、家族も毎年楽しみです。

５年生になると、翌年の６月に行われる漆器祭にむけて作品作りをし、６年生が「子どもの店」で販売します。宣伝・接客・会計等責任をもって作品を販売する、貴重な社会経験となっています。作品は毎年大好評で、開店後すぐに完売してしまうほど、漆器祭を盛り上げます。

授業の様子を拝見すると、真剣な眼差しの子ども達と一緒に、優しく丁寧に指導されている伝統工芸士の方々の生き生きとした表情が印象的です。子どものうちに漆に馴染み、魅力を知ってもらい、子ども達の中から一人でも漆塗り工芸士の後継者が生まれれば…という、工芸士の方々の熱い思いが伝わってきます。

『ふるさと学習』の集大成として、卒業記念品のオルゴール制作を漆塗りで仕上げるのも、贅沢な体験です。

彫り作業から彫り士の方にご指導をいただき、その後自分の手で漆塗りを施します。世界にひとつだけの高級な思い出工芸品です。

学校給食でも漆器を取り入れ、木造の落ち着いたホールで全校が一緒に給食を食べます。漆器は熱を伝えにくいので、持っても熱くない利点を持ち、料理の色を引き立てる為、元々美味しい給食がさらに美味しくなります。漆器の扱い方を日常的に学べ、子ども達はしっかりと身に着けています。

『ふるさと学習』を通し、子ども達が地域の方々からの愛情を感じ、いつか、今度は自分達が地域の為に何かできる事を考えられるようになれたらとても素敵な事だと思っております。

横

塩尻市立　木曽楢川小学校
塩尻市木曽平沢 1451-138
児童数 87 名（3月1日現在）

私達の学校紹介します

筑北村立
筑北小学校
児童数110人（2月1日現在）
校長　田中 公男　ＰＴＡ会長　宮澤 良治
東筑摩郡筑北村坂北２２６７

筑北小学校　正門

筑北小学校は昨年４月に旧本城小学校と旧坂北小学校が統合して109人の児童を迎え、新たな歴史を刻み始めたばかりです。それぞれ百年を優に超える歴史に幕を引き、一つになることはとても容易なことではありませんでした。しかし、PTAの皆様や地域の方々、そして熱意溢れる教育関係者などすべての方達が子どものためにという想いで、互いを尊重し理解し合い、話し合いを幾度も重ねました。そして問題を一つ一つ解決して、晴れ晴れとした希望溢れる船出をすることができました。

そして、新しく歴史を刻む新校らしく「**夢に向かって未来を拓く**」を学校教育目標に掲げております。

新校章

元気よく走り回る子どもたち

地域の方と関わる
手作りと遊びの集い

デザインを公募した校章には、村花のツツジをモチーフに「ツづける・ツながる・ジしんをもつ」を合言葉に「**子どもたちが未来に向かってのびのびと成長してほしい**」という想いが込められています。

重点活動としては、現代っ子に象徴される運動不足を解消するために、日課の中で体を動かす機会を設け「日常的な運動習慣の形成」を目指しています。

また、地域と社会が子どもを育むという観点も含め信州型コミュニティスクールの開設に向け、学校と地域住民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを推進しています。

更に、文部科学省より教育特例校の指定を受け、低学年から外国語活動の充実を図っています。

外国語活動

シリーズ こんなＰＴＡいかが？

生坂村立 生坂小学校ＰＴＡの活動報告

わくわく体験広場

毎年、腕に覚えのある村内のじいちゃんにばあちゃん、おじちゃんにおばちゃん達が講師となって昔ながらの遊びや工作を親子一緒に体験するわくわく体験広場。

私たち親もゲーム世代！自分達でそこらにあるものをナイフやノコギリを使って遊び道具などを作るのはどちらかと言うと不得手な世代。竹とんぼ作りでは親も子も危なっかしい手つきで何とか制作。いざ飛ばそうと思っても、竹とんぼはうまく飛んではくれない。高く遠くに飛んだ子もいれば、敢えなく墜落の子も。そんな時は、じいちゃんの出番。はねの角度、方向を微調整。見事空高く舞い上がる竹とんぼ。それを見て喜ぶ子ども達。またそれを見て目を細くする講師のじいちゃん達。昔のそこらで見られる風景そのもの。

親子レクリエーション

各学年の役員さんが中心に趣向を凝らして親子レクリエーションを行っています。ただ、5年生だけは夏に宿泊学習があるのでそのときの夕飯に食べるカレーライスの作る練習。もちろん、ご飯は飯盒炊飯。カレー作りも竈で火を起こしてから。保護者の皆さんに見守られながら悪戦苦闘。でも、美味しく頂きました。ここ数年の親子レクリエーションを振り返ると、親子対抗ガチドッチボール大会に餅つき、校内オリエンテーリングに肝試し、村内にある大城・京ヶ倉登山、クラス旗作成などなど。各学年ともその学年の子ども達に合った内容を計画して行われています。

ドッチボール大会では、親子に分かれて対戦。開始直後は五分五分。しかし、徐々に子ども達のパワーに押されていく親チーム。最後は子どもの投げた一投に負けた親チーム。子どもの成長に目を細めた瞬間でもありました。

第２回単位ＰＴＡ会長会　まとめの会

第２回単位PTA会長会が2月13日(土)
教育会館行動で行われました。

各学校PTA会長から今年度の単Ｐ活動の内容と課題について報告が行われました。
また、その後特別企画「愛と感謝の歌詠み会」を行いました。
各校常任委員からPTA会長へ、短歌と歌（いきものがかり・ありがとう）のプレゼントがありました。

各単位ＰＴＡの発表内容と会長への「ありがとう」短歌

広丘小ＰＴＡ活動の１つに「奨善塾(しょうぜんじゅく)」があります。特徴として地域（極力、広丘地区）の方々が講師となり、また広丘地区の公民館講座としてタイアップすることで地域の方々も参加できるものです。今年は４講座増やし全部で９講座を開催、地域の方々を含め１７５人に参加いただき、盛況のうちに終えました。

広丘小
古畑久哉 会長

ありがとう　アキレス腱が　切れちゃっても
先回りして　皆を助けた　　常任委員　藤森

今年度の朝日小学校のPTA活動ですが、全体として以下であったように感じます。
◆人の和を大切にする◆地域と関わりを深める
リユース活動で、保護者同士の縦と横の繋がり“和”を実感でき、学級レクなどで地域のイベントに参加し、多くの地域の方と触合いました。皆さんの笑顔が活動の力になりました。本当に有難うございました。

朝日小
塩原基広 会長

ありがとう　大きな体で　なんどきも
慌てず騒がず　笑って励ます　　常任委員　粟津原

こども達のために「ＰＴＡは何ができるのか」と自問自答しながらの一年間でした。あっという間の一年で、はっきりとした回答は出ませんでしたが、ＰＴＡの役員、先生方のご協力のもと微力ながら学校教育のため力になれたのではないかと思っています。ＰＴＡに携わるまでは、こどもの事は妻任せだった自分が、子育てに多くの時間関われたことは、かけがえのない経験となりました。

桔梗小
田口正幸 会長

ありがとう　メガネの奥の　やさしい目
その落ち着きは　山のようです　　常任委員　石井

楽しくやろうと始めた会長の職。会議や講演会等に出席し、貴重な経験や講演を聞くことができ楽しい１年でしたが、こうしたことを多くのＰＴＡ会員に伝えることが十分出来ずに、力の無さを感じています。しかし、子ども達のために一生懸命なＰＴＡ役員の方々に支えられ、会長としてかけがえのない１年となりました。

生坂小
藤澤正司 会長

ありがとう　子ども見つめる　眼差しは
草木芽吹く　春の陽だまり　　常任委員　田村

Ｐ－ポイントはＴ－たくさんのＡ－アイです。ずっとこの思いでPTA活動をして来ました。どれだけの人に伝わったのかは分かりません。ただ、これからも子育て・親育てに対し、そこに愛はあるのかい？（懐かしい）笑…と自分にも問いかけながら、さらに精進したいと思います。

塩尻西小
甕　剛 会長

ありがとう　感謝カンゲキ　雨嵐
君と彼女と　きらめきの彼方へ　常任委員　春日

ＰＴＡの役員に携われたことにより、多くの皆さんと出会い、情報交換できたことは、私自身にとって大きな経験となりました。学校や家庭で抱える不安や悩みはそれぞれでありますが、ＰＴＡという同じ環境の中で活動している皆さんとの意見交換は、有意義なものでした。今後の活動がさらに発展されることを願っています。

楢川小
長島峰行 会長

ありがとう　あなたのくれた　優しさで
飛べない鳥が　羽ばたけました　常任委員　瀧澤

本年度の活動で３年ぶりにバザーを行ったが、いろいろな方の協力もあり無事に終えることができました。
この一年はあっと言う間で子どもたちの事、学校の事、地域の事など考えながらPTA活動を行えたことは貴重な経験となりました。

片丘小
二山政利 会長

ありがとう　役員決めも　乗り越えた
毎年やろうね　二山会を　　常任委員　百瀬

生坂中学校のPTAの代表として、様々な経験をさせていただいた一年間でした。PTA活動としては、制服検討委員会を立ち上げネクタイ、リボンの着用を決定しました。
また、親子作業では、大勢の保護者の皆さまに参加していただき校舎の環境美化に努めることができました。来年度からは、生坂村コミニティスクールの構想準備がはじまり、新たなPTA活動が繰り広げられることに期待します。

生坂中
平林真一 会長

ありがとう　大役務め　さらに飛躍
年下なのに　たよりになるぜ　　常任委員　滝沢

歓送迎会、資源物回収、校区講演会、PTAバザー、会報、PTA文集、学年・学級PTA運営、文化祭PTA展、校外巡視、登校指導など数多くの活動を会員のみなさん、学校の先生方の協力をいただき１年間やってくることができました。私の力不足な面も多々ありましたが、楽しく１年間務めさせていただくことができました。

塩尻中
宮下憲司 会長

忘れてた　評議員会　大遅刻
そんなときでも　やさしいひとこと　常任委員　小鹿

今年の自身の活動を郡Ｐのテーマ「愛と感謝」に照らし合わせてみますと、人前に出て話をする事が苦手だった自分ですが、皆様の「愛に」見守られ、どうにか役目を果たし、苦手意識は薄れた様に思います。
「感謝」については、本校にて行われた研修会に遠路はるばる皆さんがおいで頂いた事です。一年間ありがとうございました。

筑北小
宮澤良治 会長

暖かい　赤色の屋根　筑北小
気さくに話せる　会長のよう　　常任委員　石田

シリーズ みんなだいすき 学校給食レポート Vol. 15

生坂中学校の給食の紹介

昨年から中学３年生を対象に希望献立の給食メニューを作られているそうです。昨年は全員の希望するメニューが作れなかったため、今年度は３年生２３人の希望に答えるべく１２月中にアンケートをまとめ、２・３月に生徒が希望するメニューが出ます。全員の希望するメニューが作れるのは小規模校の良さを生かしたアイディアだと思います。

給食は３年生にとって最後になるのでそれぞれの思い出深いメニューを食べてほしいと思い、始めました。思い出のメニューを食べながら給食だけでなく他の出来事も思い出してもらえれば嬉しいです。（養護教諭　金子幸恵先生）

全校生徒４４名で会食会として多目的室を利用し、給食を食べる日を年に数回設けているそうです。学年ごとではなく、部活・委員会・くじ引きなどでグループを決め、１０テーブルに先生方も分かれて給食を食べています。

その際、サイコロトーキングを行います。サイコロトーキングとは、課題を保健委員が中心となり考え、サイコロの目によりお題を決め、各テーブルごと話をします。同学年以外の人とのコミュニケーションの場としても良い事だと思います。

サイコロトーキングの一例

1　部活で一番頑張ったこと or 頑張りたいこと
2　この部活に入って良かったこと
3　これからの意気込み
4　今まで大変だったこと、大変なこと
5　この部活に入った理由、きっかけ
6　他に入りたかった部活

また、年に１度お花見給食があり、校舎外でお弁当を食べる日があります。

えんちくPTAに寄せられた三行詩より

積極的に投稿してくださった皆様、素敵な三行詩をありがとうございました。当ホームページに掲載していましたが、その中からいくつか担当者の独断で紹介いたします！

【塩尻市立片丘小学校保護者・Ｎさん】

「お話しして！」
　布団に入って始まる
　　子どもが主役のデタラメストーリー

【係よりコメント】　いつものおかしい話に期待している子どもの声、今日もやってやるぞと意気込んでいるお母さんの表情。楽しい場面がはっきりと感じられて秀逸です。

【塩尻市立広陵中学校２年・Ａさん】

命の絆の宝物
　母と私の親子の証
　　母の笑顔　私にそっくり

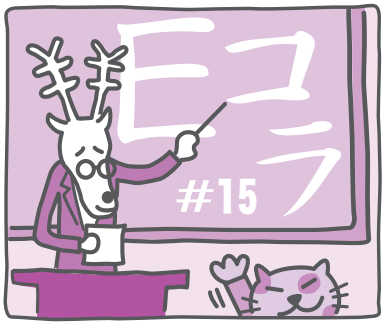
【係よりコメント】　私とお母さんの命がつながっている証拠は、私とそっくりな笑顔にある。ただ似ているだけでなく「笑顔」が似ているというのが素敵ですね。

【塩尻市立塩尻中学校１年・Ｋさん】

動物は捨てられることがあるけれど、
　動物だって一つの命だよね、と
　　ポチの頭をみんなでなでたんだ

【係よりコメント】　みんなでかわいがっているペットへの思いを家族全員で確かめ合い、命の大切さを感じています。きっとポチもみんなの愛情を感じている事でしょう。

※毎年募集されると思います。
　来年はぜひ皆様すすんで投稿してください！



あたりまえのこと七ヶ条

筑北小学校　校長
田中　公男

「昔々の話だよ…」と私が幼い頃、母が語ってくれた話。

「ある男の子がお店から食べ物を盗んだ。それを知ったお父さんが『それは得をした。うれしいね。もっと盗っておいで』とその子をほめた。」「その男の子はその後大泥棒となったが、捕まって死罪になった。磔（はりつけ）になる前、『最期にお父さんと話したい。お父さんを呼んで』と言った。」「その子はお父さんの耳元で『私が最初に物盗りをしたとき、お父さんが強く叱ってくれていたら私はこんなにならなかった。お父さんを恨んでいます』とささやいた後、お父さんの耳を食いちぎった。」というもの。

このような訓話が存在するのか、母の作り話だったのかは分からない。「父の耳を食いちぎった」という残酷な場面が幼い自分には恐ろしかった。

しかし、母のこの話は、私の父親としての家庭教育の原点になっている。それは「人としての正しい道は子どもが幼いときに断固として教えたい」というものだ。この願いから、我が家では二人の娘が幼い頃から「田中家あたりまえのこと７ヶ条」を家訓（？）として定めている。

それは次のものだ。

田中家あたりまえのこと七ヶ条

一、「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」「はい」という言葉をしっかり言う。
二、使ったもの、いす、くつはきちんと整える。
三、人のものには手を出さない。
四、人をぶたない。
五、きまりを守り、ずるをしない。
六、うそをついてごまかさない。
七、よく遊び、よく学び、よくかんで食べ、よくねむる。

成人した二人の娘がこの七カ条すべてを守り抜いてくれたとは自信を持って言えない。しかし、この家訓が少しでも今の娘たちの人間としての礎になってくれていたとしたらうれしい。

えんちくPTA連合会 No.26
発行日●2016年3月17日 発行●東筑摩塩尻PTA連合会 〒390−0876 長野県松本市開智2丁目3−28 東筑摩塩尻教育会館内
URL●http://enchiku.net/ E-mail●enchiku.pta@gmail.com TEL0263(32)1187 FAX●0263(32)4041
印刷●アサカワ印刷株式会社

いまのきもち

～郡P常任委員メッセージ～

この一年の郡Pは、「愛と感謝」を活動ミッションに掲げ、ひたすら追いかけてきました。

緑あって巡り合えた最高にステキな郡P常任委員の皆様、ご指導いただいた先生方、県P、各郡市P、単Pに及ぶた勢の皆様たちと伴に、学び、考え、笑い、語る、皆様を心から愛しみ、二度とない幸せな活動に感謝申し上げます。

郡P研修会では、えんちく北端の新統合校・筑北小学校の会場にお越しいただいた大勢のPTAの皆様に、地元PTAがウェルカムボードを掲げ、地元の子どもたちが歌い、地元のおばちゃんが野菜を売り、地元のひまわりを捧げる、素朴で温かいもう一つの「愛と感謝」。こんな皆様といつまでも一緒にいたいところですが、そろそろ卒業の季節となりました。

「愛」とは子育てそのものであり、当たり前の小さな幸せに「感謝」できる親でありたい…

筑北小 洞信夫（会長）

早いもので平成27年度も終わりが近づいてきました。初めての顔合わせの時「郡Pを柿Pの種類かと思いました」と自己紹介で話したのが懐かしい・・・。

何も分からない状態でここまで来てしまった。正直な気持ちです。

でも、この1年間の経験は自分の為になっているはずです。そんな経験をさせてくれた仲間に感謝です。

ありがとうございました。

山形小 清水哲也（副会長）

2年間の活動を通してたくさんの人との出会いがありました。出会ったすべての方から学びがあり、私の心を豊かにしてくださったと感じています。プレッシャーにつぶされそうになったり迷ったりすることもありましたが、良い仲間に出会え、支えていただいたおかげで乗り越えてこられたと感謝しています。これからは自分の子育てを全力でがんばります！

宗賀小 小林薫（副会長）

3月の新旧顔合わせ会から不安だらけで始まりました。研修会・講演会に参加させて頂き良い経験ができました。今までこんなに大変な思いを役員の皆さんはしてきたんだと改めて知り、心から感謝します。

今回、同じメンバーになった皆さんのおかげでやってこられました。一年間ありがとうございました。次の一年も頑張ってやっていきたいと思います。

丘中 倉田ゆか（副会長）

【短歌1】会長の「愛と感謝」の宣言がこの講堂を大きく包む

感激屋の洞会長がいつも胸に手を当てて話を聞く姿。我々常任委員はこれが原動力であったと思います。心からの激励が心からの行動に繋がることがよく分かりました。

そうは言っても大変でしたね。お忙しい中遠方からお越しの単Pの皆様、ありがとうございました。そしてここの文章まで丹念に読んでくださったあなたこそ、本当にありがとうございました！

【短歌2】会議あと疲れた頭と我が子らに和菓子を買って帰りましょうか

広丘小 藤森円（常任委員）

右も左もわからぬまま、足を踏み入れた常任委員。個性溢れる有能なメンバーの中で「私になにができるだろう」自問自答の1年だった気がします。

PTAは大変・堅苦しい、そんなイメージを抱いていましたが、こんなにも教育・育児に関して多くを学ばせて頂ける、素晴らしい場は他には無いように思います。そして、沢山の同じ子どもを持つ保護者の方々との交流は本当に貴重な宝物となりました。

感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました

桔梗小 石井麻美（常任委員）

早一年が過ぎようとしている群P。役員の皆様には迷惑ばかりを掛け、大変心苦しく思っています。しかし子どもたちの今を思い、未来に何が出来るかを単Pとは違った視点、観点を感じ取ることが出来た貴重な一年となりました。今はまだ五里霧中ですが、この経験をいずれまた何処かで役に立てればと思います。

非力ではありましたが、皆様本当に有難うございました。

塩尻西小　春日（常任委員）

昨年3月に新旧顔合わせをしてからもう1年が経ちます。何も分からず、知り合いもいない中、郡Pの活動が始まりました。

学校や子育ての事など皆さんと話す機会を持つことが出来ととても良い経験が出来ました。

1年間良い仲間に恵まれて活動できた事に感謝しています。ありがとうございました。

片丘小 百瀬芳月（常任委員）

この一年を振り返って、月並みですが、あっという間の一年でした。引き受けた時には何もわからず、不安だらけでしたが、洞会長の強烈なキャラクターに引っ張られ、また、明るく楽しい仲間にも恵まれ、たきなトラブルもなく、常任委員の役割を全うすることができ？ホッとしています。この一年は、子どものことや学校のこと、また教育のことなどを考える良い機会となりました。本当にありがとうございました。

最後はやっぱり、愛と感謝！

塩尻中 小鹿良作（常任委員）

あと、少しで終了すると思うと気持ちもスッキリ！自然とにやけ顔に・・・これが今の本音♥

毎回ドキドキの専門委員会も終わって見れば、あーすればこーすれば、と少々の後悔も。一年で終わってしまうのは残念ですが来年もやるか？と聞かれたらきっぱりと「やりません」と答えます。やはり一年だから出来ることだと感じます。来年度の清水会長・倉田副会長ごめんなさい。

一緒に過ごした一年間、大変でしたが楽しかったし、やりがいもありました。心より感謝です。ホントにもう少しで終わると思うと心が晴れやかになる私です。

朝日小 粟津原佐知（常任委員）

引き受けたものの全く未知の世界の郡P。一年間どう両立しようかと考えたのがちょうど一年前。

いざ活動が始まると、そんな不安はどこへ。洞会長はじめ常任の皆さん、先生方の子ども達に対する熱さを感じながら体験し、多くのことを学ぶことができた貴重な一年となりました。支えて下さった皆さんありがとうございました。

生坂小 田村正啓（常任委員）

PTA活動の裏では、こんなにも沢山の人達のご苦労があったのかと、今までの役員さん達に改めて感謝する一年間でした。年齢も職業も性格も全然違う仲間が集まって、一つの目標に向かって仕事をするという事は、とても貴重な勉強になる時間でした。優しく楽しく個性豊かな仲間に、たくさん支えてもらい、背中を押してもらいました。一緒に仕事が出来たことを、心から嬉しく思います。

皆さん本当にお世話になりました。

木曽楢川小 瀧澤ひとみ（常任委員）

不安からのスタートでした。

仕事の関係上全出席出来ず役員の方々にはご迷惑をお掛けしました。

子どもの教育をしていく際に参考になる点も多々あり学ぶことが多い一年となりました。

生坂中 滝沢修吾（常任委員）

私達が子どもだった頃と比べると、教育環境もたきく変化し、私達の体験のまま今の子ども達に伝えることの難しさを痛感しています。

特にテレビ、インターネット、テレビゲームなどの影響はたきく、昔のように教育は学校に任せておけばよいという考えは通用しなくなり、私達保護者も先生方と密接に連携して積極的に教育に参加することが求められているように感じます。

筑北小 石田弘子（常任委員）